

科目名	軟部組織損傷実技								年度	2025
英語科目名	Soft tissue damage practical skill								学期	前期
学科・学年	柔道整復科 2年次		必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実技
担当教員	加藤健太		教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
【科目の目的】										
1年次に学習した軟部組織損傷総論を基に、身体各部位における捻挫、打撲、挫傷の実技について実技を中心に理解するのがねらいである。具体的には、身体を頭部・顔面、胸部・背部、頸部、腰部、肩部・上腕部、肘部、前腕部、手部・手指部、股関節、大腿部、膝部、下腿部、足部に分け、それらの部位の損傷についての概説、発生機序、分類、徒手検査法、症状、治療法、固定法、治癒経過、予後、合併症、鑑別診断を要する類症などについて概略を理解し、触診、徒手検査法、治療法、固定法について詳細に理解実施する。										
【科目の概要】										
部位別に具体的な外傷の整備・固定・後療法等や治療に至るまでの注意事項を学ぶ。 この授業では、プリントを用いる。1年次に学んだ軟部組織の基本的な構造と機能、軟部組織損傷の基本的知識を基に、身体各部位について軟部損傷の形式と特徴、好発、発生機序、特異的症候、予後等について理解し、治療、固定について詳細に理解し実技が出来るよう、授業を進める。										
【到達目標】										
軟部組織損傷について、身体各部位の軟部組織の解剖学的理解を基に、それぞれの部位の損傷の概説、損傷時に加わる力の特徴、損傷の程度、部位などによる分類、損傷の発生機序、鑑別や損傷程度を確認する徒手検査法、症状、治療法、固定法、治癒経過、治癒に影響を与える因子、予後、合併症、鑑別診断を要する類症などについて部位ごとに理解し実技ができるようになることを到達目標とする。										
【授業の注意点】										
柔道整復師の業務内容そのものを学ぶので、身だしなみに注意を払い（スクラブ着用着用、爪は綺麗に、装飾品は外すなど）、医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう		レベル2 あと少し		レベル1 要努力	
到達目標 A	軟部組織の機能解剖と損傷発生との因果関係を深く理解している		軟部組織の機能解剖と損傷発生との因果関係を理解している		軟部組織の機能解剖と損傷発生との因果関係が重要だと認識し理解に努めている		軟部組織の機能解剖と損傷発生との因果関係を深く理解していない		軟部組織の機能解剖と損傷の間に因果関係に考えが及ばない	
到達目標 B	軟部組織損傷の発生機序を深く理解し症状との関連を説明できる		軟部組織損傷の発生機序を理解している		軟部組織損傷の発生機序を重要だと認識し理解に努めている		軟部組織損傷の発生機序を理解していない		軟部組織損傷の発生機序と症状の間には関係はないと考えている	
到達目標 C	軟部組織損傷の症状を深く理解し治療法との関連も説明できる		軟部組織損傷の症状を理解し説明できる		軟部組織損傷の症状の理解を重要だと認識し理解に努めている		軟部組織損傷の症状を理解しておらず説明もできない		軟部組織損傷の症状と治療法の間には関係はないと考えている	
到達目標 D	軟部組織損傷の徒手検査法の原理を深く理解し正確に行なう事ができる		軟部組織損傷の徒手検査法の原理を理解している		軟部組織損傷の徒手検査法の種類と方法を認識し理解に努めている		軟部組織損傷の徒手検査法の原理を理解しておらず、種類、方法も認識していない		軟部組織損傷の徒手検査法を覚える姿勢がない	
到達目標 E	軟部組織損傷の治療の原理を深く理解し局面毎に計画する事ができる		軟部組織損傷の治療の原理や中身を理解している		軟部組織損傷の治療法の種類と方法を認識し理解に努めている		軟部組織損傷の治療法の種類と方法を理解していない		軟部組織損傷の治療法を覚える姿勢がない	
【教科書】										
教科書（柔道整復理論-社団法人全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。										
【参考資料】										
なし（自身作成のプリントを配布）										
【成績の評価方法・評価基準】										
定期試験と課題による評価										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		軟部組織損傷実技			年度	2025
英語表記		Soft tissue damage practical skill			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	頭部、顔面の損傷	頭部、顔面の損傷について正しく理解しているか	1 外傷性顎関節損傷 2 頭部、顔面部打撲 3 顎関節症	左記損傷の発生機序、症状、治療、固定等について理解し行える 左記損傷の発生機序、症状、治療、固定等について理解し行える 左記損傷の発生機序、症状、検査法、治療、固定等について理解し行える		
2	頸部の損傷①	頸部の損傷についてきちんと理解し正しく検査法を行えるか	1 頸部周囲の筋損傷 2 外傷性腕神経叢麻痺 3 末梢神経損傷	寝違えの発生機序、症状、治療、外傷性頸部症候群の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える 左記損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える 副神経、長胸神経麻痺の発生機序、症状、治療等について理解し行える	3	
3	頸部の損傷②	頸部の損傷についてきちんと理解し正しく検査法を行えるか	1 斜頸 2 頸椎の病変 3 脊柱管内の病変	左記損傷の発生機序、種類、症状、治療等について理解し行える 頸椎椎間板ヘルニア、頸椎症、頸椎の炎症性病変、先天性奇形の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える OPLLの発生機序、種類、症状、治療等について理解し行える	3	
4	胸部の損傷	胸部の損傷についてきちんと理解し正しく検査法を行えるか	1 胸郭出口症候群 2 胸部の打撲 3 その他の胸部損傷	左記損傷の発生機序、種類、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える 左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療、注意事項等について理解し行える 肋間筋損傷、胸肋関節損傷の発生機序、症状、治療等について理解し行える	3	
5	背部の損傷、腰部の損傷①	背部、腰部の損傷についてきちんと理解し正しく検査法を行えるか	1 背部の筋損傷 2 背部の打撲 3 腰部の軟部組織損傷	左記損傷の発生機序、症状、治療等について理解し行える 左記損傷の発生機序、症状、治療、注意事項等について理解し行える 左記損傷の発生機序、種類、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える	3	
6	腰部の損傷②	腰部の損傷についてきちんと理解し正しく検査法を行えるか	1 腰椎椎間板ヘルニア 2 脊椎すべり症 3 腰部脊柱管狭窄	左記損傷の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える 左記損傷と脊椎分離症の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える 左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える	3	
7	肩の損傷①	肩部の損傷についてきちんと理解し正しく検査法を行えるか	1 腱板断裂 2 上腕二頭筋長頭腱損傷 3 肩のスポーツ障害①	左記損傷の発生機序、種類、特徴、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える 左記損傷の発生機序、種類、特徴、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える ベネット損傷、SLAP損傷、肩峰下インピンジメント症候群の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える	3	
8	振り返り①	ここまで学んだ知識、技術を正しく理解し行えるか	1 頭頸部の損傷 2 胸背部、腰部の損傷 3 肩の損傷	頭頸部の損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える 胸背部、腰部の損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える ここまで学んだ肩の損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える	3	
9	肩の損傷②	肩部の損傷についてきちんと理解し正しく検査法を行えるか	1 肩のスポーツ障害② 2 末梢神経損傷 3 その他の肩の損傷	リトルリーガー肩、野球肩の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える 肩甲上神経、腋窩神経麻痺の発生機序、症状、治療等について理解し行える 動揺性肩関節症、五十肩、石灰性腱炎、変形性肩関節症の発生機序、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える	3	
10	上腕部の損傷、肘の損傷①	上腕部、肘部の損傷についてきちんと理解し正しく検査法を行えるか	1 末梢神経損傷 2 肘の靱帯損傷 3 肘のスポーツ障害①	上腕部での橈骨神経、尺骨神経麻痺の発生機序、症状、治療等について理解し行える 側副靱帯損傷、外側副靱帯複合体損傷の発生機序、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える 内側上顆炎、外側上顆炎の発生機序、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える	3	
11	肘の損傷②	肘部の損傷についてきちんと理解し正しく検査法を行えるか	1 肘のスポーツ障害② 2 肘の変形 3 パンナー病	離断性骨軟骨炎、野球肘、テニス肘の発生機序、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える 内反肘、外反肘、変形性肘関節症の発生機序、症状、治療等について理解し行える 左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える	3	
12	前腕部の損傷	前腕部の損傷についてきちんと理解し正しく検査法を行えるか	1 前腕コンパートメント症候群 2 末梢神経損傷① 3 末梢神経損傷②	左記損傷の発生機序、種類、特徴、症状、治療等について理解し行える 円回内筋症候群、前骨間神経麻痺の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える 後骨間神経麻痺、橈骨神経管症候群、肘部管症候群の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える	3	
13	手指の損傷	手指部の損傷についてきちんと理解し正しく検査法を行えるか	1 靱帯損傷 2 ロッキングフィンガー 3 腱損傷	指側副靱帯損傷の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える ロッキングフィンガーの発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える 前腕伸筋腱、屈指筋腱損傷、ド・ケルバン病、ばね指の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える	3	
14	振り返り②	前回の振り返り以降学んだ知識、技術を正しく理解し行えるか	1 肩の損傷 2 上腕、肘部の損傷 3 前腕、手指部の損傷	肩の損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える 上腕部、肘部の損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える 前腕部、手指部の損傷の発生機序、種類、症状、徒手検査法、治療、固定等について理解し行える	3	
15	手関節付近の損傷	手関節付近の損傷についてきちんと理解し正しく検査法を行えるか	1 TFCC損傷、その他 2 キーンバック病 3 末梢神経損傷	TFCC損傷、尺骨突き上げ症候群、手根不安定症の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える 左記損傷の発生機序、特徴、症状、治療等について理解し行える 手根管症候群、ギヨン管症候群の発生機序、特徴、症状、徒手検査法、治療等について理解し行える	3	
評価方法：1. 小テスト2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						